

平成 17 年国勢調査 第 1 次基本集計結果 結果の概要

平成 17 年 10 月 1 日現在で実施された平成 17 年国勢調査の第 1 次基本集計結果の大阪市関係分を紹介します。

平成 17 年国勢調査 第 1 次基本集計結果 結果の概要 (要約)

人口は 262 万 8811 人 (確定数)

- ・ 前回調査 (平成 12 年) と比べ 3 万 37 人 (1.2%) の増加。

市域中心部の人口増加が顕著

- ・ 増加率が最も高いのは中央区の 20.8% 増で、次いで西区の 14.5% 増。
- ・ 前回調査 (平成 12 年) と比べ、増加区が 13 区、減少区は 11 区。

65 歳以上人口の割合が上昇、総人口の 20.1% に

- ・ 年少人口 (15 歳未満人口) は 31 万 5143 人 (総人口の 12.0%)
- ・ 生産年齢人口 (15 歳以上 65 歳未満人口) は 174 万 9851 人 (同 66.6%)
- ・ 老年人口 (65 歳以上人口) は 52 万 9692 人 (同 20.1%)
- ・ 構成比を前回調査 (平成 12 年) と比べると、年少人口の割合は 0.6 ポイント低下、生産年齢人口の割合は 3.5 ポイント低下となっているのに対し、老年人口の割合は 3.0 ポイント上昇。

男女とも未婚率が上昇

- ・ 男性の未婚率は 25~29 歳で 73.2%、前回調査 (平成 12 年) と比べて 3.1 ポイント、30~34 歳で同 50.3%、3.1 ポイント、35~39 歳で同 33.9%、3.2 ポイント、40~44 歳で同 27.5%、3.0 ポイントといずれも上昇。
- ・ 女性の未婚率は 25~29 歳で 64.0%、前回調査 (平成 12 年) と比べて 6.3 ポイント、30~34 歳で同 39.6%、4.5 ポイントと大きく上昇したのをはじめ、35~39 歳で同 25.5%、3.8 ポイント、40~44 歳で同 19.3%、3.7 ポイントと、いずれも上昇。

1 世帯当たり人員は 2.12 人に減少

- ・ 一般世帯数は 120 万 3312 世帯で、前回調査 (平成 12 年) と比べて 5 万 4265 世帯 (4.7%) の増加。
- ・ 世帯人員別にみると、1 人世帯が 51 万 3232 世帯で最も多く、一般世帯の 42.7% を占める。
- ・ 1 世帯当たり人員は 2.12 人で、前回調査 (平成 12 年) と比べ 0.10 人の減少。

単独世帯、高齢者単身世帯が増加

- ・ 一般世帯のうち親族世帯数は 67 万 9031 世帯で、前回調査 (平成 12 年) と比べて 6773 世帯 (1.0%) の減少、単独世帯は 51 万 3232 世帯で、前回調査 (平成 12 年) と比べて 5 万 8415 世帯 (12.8%) の増加。
- ・ 65 歳以上の親族のいる一般世帯でも単独世帯数は 14 万 4773 世帯で、前回調査 (平成 12 年) と比べて 32.0% の増加。